



# なのはな通信

26年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No.10

平成26年9月1日

## 夏休みの思い出

今年の夏も異常気象によると思われる河川の氾濫や土砂崩れによる被害が高山や京都、広島などの各地で起こった。住み慣れた家が土石流により一瞬にして流されてしまった被災地の方々の顔を見て、他人事ではないけないとつくづく思う。尊い命を奪われ、家を流された方のご冥福を心よりお祈りいたします。

自然災害が起こらないようにと願う心は、平安時代の人々も同じであっただろう。撰閑家の藤原道長の子、頼道が永承七年（一〇五二）に創建したといわれる平等院鳳凰堂は、改修を終えて当時の輝く優美な姿を現した。仏師・定朝によって造られた中央の阿弥陀如来坐像や五十二の雲中供養菩薩像を拝みながら、全世界の平穏と安寧を願う夏休みになった。

実は、修学旅行の下見をするため、八月十八日に六年の先生と一緒に宇治平等院を訪れた。改修を終えた鳳凰堂は、まさしく金色の鳳凰と朱塗りの柱が、極楽浄土を表す場にふさわしく心に残る。世界遺産の一つである平等院は、四十三人の六年生の心に一生残る見学地になるだろう。例年より見学地を増やすことができるのは、往復バス利用によるものであり、学校集合・解散も可能になった。



## 第五十六回 岡崎市小中学生英語スピーチフェスティバル

小学生にはスピーチの部とスキット（寸劇）の部があります。中部小の代表として六年生の夏目さんと山崎さんがスキットで堂々と発表しました。内容は裏面をご覧ください。

八月二十二日、総合学習センターで全市の小中学生一三一人が舞台に立ちました。ALTのトニー先生と本多先生が夏休みに発音やスキットの指導してくれました。一分間のスキットですが、二人は自信をもって表現しました。



昭和三十四年に竜海中学校で「英語暗唱大会」が始められてから五十六年を迎える大会に、平成二十年から小学生の部も始められました。岡崎市は特別に英語活動ができるように文部科学省の認可を得て、一年生から英語に触れさせる時間を設けています。グローバル化した社会への対応のために先行実施しているのです。二〇二〇年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。高学年の英語教科が決まり、六年後には教科書も配付されるでしょう。

英語は大切ですが、何よりも国語の学習を疎かにしてはいけません。自国の文化を守り発展させるためにも読む・書くことを大事にさせたいと思います。ゲームやスマートフォンに心まで奪われてはいけません。国語力を身につけることが、国際社会には必要です。